

第26回 FM はなび 番組審議会議事録

- 1.開催日時 令和4年 12月1日（木）午後3時～
- 2.開催場所 大仙市健康文化活動拠点センター 「ペアーレ大仙」3階教養室（3）
- 3.委員出席

委員総数 6名

出席委員 3名

欠席委員 3名（内2名 書面での参加）

出席委員

一色 浩 委員長

石川 穰 委員

鈴木 正人 委員

欠席委員

加藤 正則 委員

佐々木 進永 委員

小山 貴子 委員

放送事業者側出席者

福原 尚虎 放送局長/FM はなび

根田 朋子 事務局/FM はなび

藤田 浩士 事務局/FM はなび

進藤 久 /(株)TMO 大曲職員

4.議題

- （1） 審議番組/防災特別番組「命を守る呼びかけ」

※令和4年10月10日(月) 17:00～18:00 放送分

- （2）その他

5. 議事の概要

- （1）事前に審議番組の放送同録を委員に提出
- （2）審議会当日、出席委員による意見交換

6.審議内容

(1) ① 審議番組「防災特別番組『命を守る呼びかけ』」について

- ・伝えるという部分に特化している。コンセプトがよい。
そこから一步踏み込んだどこに逃げるのかまでつなげていける
アクションプランも踏まえた内容にしてもいいのではないかな。
- ・はじめは興味深く聞いていたが中だるみを感じてしまった。
ラストのナレーションを聞くことでようやく理解をすることができた。
途中でナレーションの注釈をいれるなどしてもよいのでは。
- ・コラボレーションした TV 局の OA を見ていたので事前情報としてあったが、
社内研修を社外の人間が見ている感覚。秋田弁で伝えることの心地良さを感じた。
- ・最初は災害時におけるアナウンスの技術に関するものに集中していたため、
リスナーが欲する情報なのだろうかと思ったが、出てきた言葉の中から、
地域防災への意識を高めるためには必要な放送だったのだと思い返した。
地域防災の放送を聞いた方がさらに、身近な人に声をかけてかけることが
より大切となるという内容は、心に響く内容だったのではないかな。
- ・CFM として出来る身近な呼びかけは非常に大切だと感じる。
正しい情報伝達と防災意識を地域の皆様により正確に知っていただくために SNS
の活用も含め FM はなびの変わらぬ課題であると考えます。
パーソナリティの皆様と同様にとっても勉強になりました。“命を守る呼びかけ”
今後とも続いていくと期待します。

(1) ② その他

- 今回の開催までの期間、開局から放送している「大仙民話の会」の創立20周年に関する番組、大仙市を会場に開催された県種苗交換会に関する特番などの報告。
- 年末年始に予定しているイベント、特番に関する報告 など

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

- ・特になし。

8.意見の概要の公表

- ・公表の方法 自社ホームページ (<http://fmhanabi.com>) への掲載
- ・公表年月日 令和 4年 12月 28日
- ・事務所への備置き

9.備考

- ・次回開催予定日
日 時 令和5年 3月 2日 (木) 午後3時
会 場 ペアーレ 3階 教養室 (3)